（様式2） 実行計画管理シート

事業名	142	農業体験拡充事業	部・課	産業文化部　農業振興課

総合計画との関係	基本目標等	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	22　農を守り、生かすまち
	（関連施策目標等）	
	（関連施策目標等）	
	4つの重点的に進める施策との関係	
総合戦略との関係	基本目標	
	施策目標	
市長公約との関係		＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	
	2016(H28)年度市政運営方針	
	2017(H29)年度市政運営方針	
	2018(H30)年度市政運営方針	

事業概要（目的・内容等）	「農」とふれあい、農業への理解を促進するため、小学生が植え付けから収穫、農産物の調理・加工、試食までを体験する食農体験学習の支援を行う。また、農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するなどの体験ができる「ふれあいツアー」を開催する。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		農業委員会の事業であった「市民・消費者と農業のふれあいツアー」を移管し、農家が栽培した新鮮な農作物を直接市民が収穫する等の体験を通じ、農業への理解を深めてもらう事業として「ふれあいツアー」を開催している。取り扱う作物の一部を大阪エコ農産物とするなど内容の充実を図っている。 小学生食農体験学習は、農業が有する教育力を児童の健全育成に生かすことを目的に、平成20年度より試行実施し平成22年度より実施要綱及び実施要領を制定し、実施している。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・小学生食農体験学習の実施 ・「ふれあいツアー」の開催
	実績（評価）	・小学生食農体験学習については17校実施した。 ・「ふれあいツアー」については4,814人の参加があった。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	「ふれあいツアー」「食農体験学習」ともに、農家の高齢化に伴う受け入れ先の減少が考えられる。		
今後の対応	「ふれあいツアー」「食農体験学習」ともに、受け入れ農家の確保に取り組む。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
農業ふれあい体験者数	○		5217	5315	4,814				5500	人
指標の説明										
地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数			高齢化による、受け入れ農家の減少など課題もあるが、継続的に事業に取り組む。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
食農体験学習実施校数	○		18	20	17				21	校
指標の説明										
地元農家の指導により植付から収穫までを連続的に体験する食農体験学習を実施した小学校数			農家の高齢化等に伴い、受け入れ農家の減少などで実施校数は減少している。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	3,187						3,187
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）